

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 16

神の子たちの出現を待ち望む——明示の過程の完成

聖書：伝1:2. 12:8. 詩39:4-6. ローマ6:5. 8:11, 17-23. ペリピ<sup>3</sup>:21

I. 宇宙は神の子たちの出現を熱心に待ち望んでいます——ローマ8:19：

- A. 子たる身分はわたしたちの霊の再生をもって始まり、わたしたちの魂の造り変えをもって継続し、わたしたちの体の贖いをもって完成します——23節。
- B. 被造物は切なる期待をもって、神の子たちの出現を熱心に待ち望んでいます——19節：
1. 出現とは、以前には覆われており、隠されていたものが、ベールを取られ、現れることです——エペソ1:17. 3:5. ガラテヤ1:15-16. 啓1:1。
  2. 主の再来の時、わたしたちが栄光化され、わたしたちの体が完全に贖われる時、そのおおいに取り去られます——ローマ8:18。
- C. 全被造物は虚無に服従させられてきた——20節：
1. 伝道の書によれば、人類歴史は初めから現在に至るまで、空です——1:2. 12:8。
  2. 物事がいかに良くて、卓越し、驚くべきものであり、素晴らしくても、旧創造のものである限り、それは日の下にある空の空の一部です——1:9. 2:11, 17, 22。
  3. 詩篇第39篇4節から6節で、ダビデは彼の生涯が無であり、空であることを認識しました：
    - a. この詩篇で、ダビデが神によって認識させられたのは、彼が無であり、空であるということです。彼は、どんな人もその最高の時にも全く空であることを学びました——5節。
    - b. 自分の状態が罪深く（詩第38篇）、自分の状況が空であることを認識することはキリストのために一つの道を開きます。それは、わたしたちを十字架につけ、わたしたちの中へと入って、わたしたちを通してご自身を生きることによって、わたしたちを置き換えることであり、またガラテヤ第2章20節でパウロによって述べられているように、有機的な結合の中で、わたしたちを彼と共に生きさせることです。
- D. 人は最も高く、最も高貴な目的をもって神によって造られました。すなわち、それは神のかたちの中で、彼の神聖な命と性質をもって、神を表現することです——創1:26：
1. 神の敵である、悪魔サタンは来て自らを罪として、神によって、神の定

められた御旨のために創造された人の中へと注入しました——3:1-6. ローマ5:18. 3:23. Iヨハネ3:4.

2. サタンが自らを罪として人の中へと注入した結果、人と全被造物は朽ち果てる奴隷状態の中へともたらされて、虚無に服従させられました——ローマ5:12. 8:20-21.

3. 被造物が虚無と朽ち果てる奴隷状態に服従させられてきたので、日の下にあるすべてのものは空です——伝1:2. 12:8.

4. 現在、被造物は朽ちていき腐敗する律法の下で奴隷となっています。その唯一の望みは、神の子たちが明らかにされる時、朽ち果てる奴隷状態から自由にされて、神の子たちの栄光の自由に入ることです——ローマ8:20-21.

E. 被造物は今に至るまで共にうめき、共に苦しみの中で苦勞しています。そして、わたしたち自身自分の中でうめいて、神の子たちの出現、現れを熱心に待ち望んでいます——19, 22-23, 16節。

## II. 神の子たちの出現は、今わたしたちが経過しつつある明示の過程の完成として来るでしょう——1:3-4:

A. 復活の中で、人性をもったキリストは変貌して、神の御子と明示されました。またそのような復活の手段によって、わたしたちも神の子たちと明示される過程の中にあります——マタイ17:2, 9. ローマ1:3-4. 8:11.

B. キリストの復活を共有するとき、わたしたちは神の子たちと明示される過程を経ています。わたしたちは復活によって明示されます——6:5. 8:11:

1. わたしたちはみな復活の手段によって、現在、神の子と明示される過程の中にあります——1:3-4.

2. わたしたちが明示され、息子化される過程は、四つの主要な面（聖別、造り変え、同形化、栄光化）を伴う復活の過程です——6:22. 12:2. 8:29-30.

3. わたしたちは、復活の過程を通して、命の変化によって、神の子と明示されます——ヨハネ11:25.

4. ローマ第6章5節は復活の経験を述べています。この節は、わたしたちはキリストの死の様の中でキリストと共に成長しており、またわたしたちは彼の復活の様の中にあると言います。

5. 復活は命の力です。すなわち、キリストはわたしたちにとって命の力です——エペソ1:19-20.

6. 復活は、死を含む、すべての消極的なものを征服することができます。死は力強いですが、復活はなおさら力強いです——使徒2:24.

1. 復活は死を征服するだけではありません。それはまた死を食い尽くします—— I

コリント15:54。

8. 復活には多くの積極的な機能があります。すなわち、成長、造り変え、形づくることです——Iコリント15:54。
  9. 復活には、起き上がる力もあります。出エジプト第30章23節の菖蒲は起き上がるキリストの力の絵です。
  10. 信者として、わたしたちは内側に復活であるキリストを持っています。そして、この復活はわたしたちの命の力であって、成長、造り変え、形づくることをもたらします——ローマ8:11. 12:2。
  11. その霊は復活の実際です。イエスを死人の中から復活させた方の霊は、復活の実際として、わたしたちの中に住んでいます——8:11. Iコリント15:45後半。
  12. 自分自身を改善しようとしたり、自分自身を罪のない完全な者にしようとするのではなく、わたしたちは明示する霊を経験し、享受すべきです。復活の力によって、わたしたちは造り変えられ、同形化され、最終的に栄光化されます——ローマ12:2. 8:17, 21, 29。
- C. わたしたちの将来の栄光化は、復活による明示の過程の最終段階となります。それは体に適用される復活です——23節：
1. わたしたちは体の贖いを必要とします。すなわち、復活がわたしたちの体に適用される必要があります。
  2. わたしたちの内の神聖な命は、最終的にわたしたちの物質の体を通して全き方法で表現され、それを栄光の体に変貌します——ピリピ3:21。
  3. このようにして、わたしたちの内にある神聖な命によって、死は飲み尽くされます。
  4. これが意味するのは、わたしたちは復活の中で、神聖な命と性質がわたしたちの全存在に浸透して、全き者になるということです。それが全き子たる身分です——ローマ8:15, 23。
- D. 今日わたしたちが必要とする教えは、予言や経綸に関する客観的な教えではなく、命の力として、復活したキリストを経験し、享受することによって、いかにして神の子と明示されるかについての教えです——ヨハネ11:25：
1. もしこのような教えを持つなら、わたしたちは自分自身においては望みがなく、頼りない者であることを認識し、もはや自分自身を改善しようとはしないでしょ——ピリピ3:3。
  2. わたしたちは栄光化されるまで、霊を活用して主と接触し、復活による明示の過程にあずかる必要があります——ローマ8:17-18, 21。